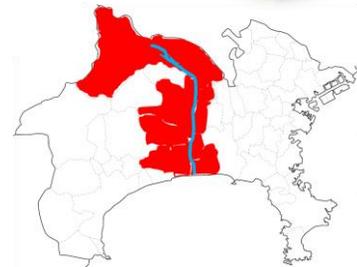




「ナガエツルノゲイトウ」に警戒を！

南米原産の多年生雑草で、相模川水系におけるほとんどの市町の水田で侵入を確認しています。定着すると根絶が困難で水稲に被害をもたらすため、早期発見・防除が重要です。



水田で発生が確認されている市町

1 特徴と見分け方

- 再生力大！** 茎・根の断片から再生し、増殖する
※国内の侵入系統は種子をつけない
- 侵略力大！** 水陸両生で乾燥に強く、畦畔や農道、畑地にも侵入する
- 拡散力大！** 主に用水を通じて拡散し、水田へ侵入する



「外来生物早期発見ツール」
農林水産省ウェブサイト

葉

節から一对に葉がでる



2.5-5cm

葉の先端がやや尖っている

茎

茎はなめらかでざらつかない



茎の中心は空洞（ストロー状）

花

球状花の直径約1~1.5cm



長めの花軸（約1~4cm）

花軸は葉の脇から伸びる

水辺ではマット状に広がる



よく似た雑草



アメリカタカサブロウ



イボクサ



ツルノゲイトウ

疑わしい雑草は、**その場から動かさず**に、最寄りの農協または普及指導部までご連絡ください。

2

耕種的防除

ナガエツルノゲイトウは、主に用水を通じて水田内に侵入・拡散します。

①侵入させない

- 発生している地域では、**水口にネット**等を設置し、侵入を防止

水口にネット

②繁茂させない

- 本田の秋耕では、**除草剤で枯死させた後に耕うん**
- 畦畔等では、**機械除草は避け**、除草剤による防除

③流出させない

- 機械に付着した**断片が拡散しない作業手順**、機械洗浄の徹底
- 水尻にネット**等を設置し、断片の流出を防止（特に**代かき後田植前の落水時**）

水尻にネット

抜き取ったナガエツルノゲイトウを水田に放置しない。

断片から再生します



ナガエツルノゲイトウは特定外来生物に指定。外来生物法により栽培、保管、運搬、譲渡、放出、植栽等が禁止。適切な手続きをとらずに生きた個体を保管・運搬等すると法律違反となりますので、注意してください。

3

農薬を使った防除

農薬成分「ピラクロニル」、「フロルピラウキシフェンベンジル」はナガエツルノゲイトウの防除に有効

体系処理（初期剤／初中期一発剤→中・後期剤）による防除を行う

まん延ほ場では、収穫後に**水田刈跡に登録のある非選択性茎葉処理剤**による防除を行う

移植

中干し

収穫

耕うん

降霜前までに行う

初期剤/初中期一発剤 中期剤

後期剤

非選択性茎葉処理剤

初期剤

初中期一発剤

中期剤

後期剤

非選択性茎葉処理剤

ピラクロン
1キロ粒剤

・バッチリLX
1キロ粒剤
・アッパレZ
400FG

ウィードコア
1キロ粒剤

ロイヤント乳剤
(スポット散布可)

非選択性
茎葉処理剤
ラウンドアップ
マックスロード

数cmの断片からも容易に再生するため、**機械除草（刈払機）ではなく、ロイヤント乳剤又は水田畦畔に登録のある非選択性茎葉処理剤**による防除を行う

数cm

※ 農薬は必ずラベルの表示に従って使用すること

※ 令和6年3月25日現在、移植水稻、水田作物（水田刈跡）及び水田作物（水田畦畔）に登録がある除草剤

本資料に係る試験は、農林水産省委託プロジェクト研究「農業被害をもたらす侵略的外来種の管理技術の開発」JPJ0079666の補助を受けて実施した。